

一年間の振り返り	筑穂保育所 令和5年3月	
運営管理	職員会議で連携を密に行い、飯塚市の保育理念、保育方針、保育目標を達成するように努めました。職員の資質・保育の質の向上を目指し、リモートで研修会に参加するなど、専門性を高める努力を行いました。	
守秘義務	保護者や子どものプライバシーの保護、保育業務で知り得た情報や個人情報等の守秘義務について全職員に周知・徹底を行いました。	
安全・危機管理	危機管理意識を持って、施設や遊具の点検・防災訓練・不審者訓練等を実施しました。職員が常に危機管理意識を持ち、安全な保育に努めました。0歳児は午睡時の向きや体動を個々のセンサーと保育士とのダブルチェックで確認、記録を行いました。	
保育環境	園内外の清掃を心がけ、子どもたちが健やかに生活できるように環境を整えました。好きな遊びを十分に楽しめるよう玩具を整備し、温度、湿度、換気等の環境を適切な状態に保持しました。PM2.5等の大気汚染に注意するなど、年間を通して施設内外の保健的環境や安全の確保に努めました。	
健康・衛生管理	手洗いや消毒、換気等をこまめに行い、感染症の流行を防ぐように努めました。また、玩具や室内の消毒、密を避けるためのパーテーション利用などの対策を行いました。感染症発症時は各クラス前に掲示したりコドモンでも配信したりして、保護者に周知しました。	
保育内容	「人権保育」に重点を置き一人一人を大切にしながら、発達段階に応じた保育実践をしました。子どもたちが自分で遊びを選び、安心感を持って活動できるように保育を行いました。また友だちや保育者とかかわる楽しさを感じられるような保育も心がけました。	
食育	食べることの楽しさや食事のマナー、食べ物と身体との関係等を各年齢に応じた方法で知らせていきました。菜園活動を通して、食材への関心や食べる意欲を育てました。	
子育て支援	送迎時に子どもたちの様子を伝えたり育ちを共に共感したりするなど、保護者との対話を大切にしました。家庭における子育ての悩みを共有し、育児相談やケースに応じた援助を行い、子育てにかかわる情報を提供しました。一時預かり事業を通して、在宅親子の育児相談等にも対応しました。	
地域交流	老人ホーム慰問、中学生の保育体験受け入れは、新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は行えませんでした。散歩に出かけ地域の方々といさづを交わすなど、小さな交流ができました。	
苦情報告	いろいろなご意見、ご要望がありましたが、その都度真摯に受け止め、保育課にも報告・相談を行い対応しました。職員会議を行い、全職員へ周知し解決のための取り組み、改善を行いました。第三者委員会に行くような相談はありませんでした。	
外部評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職員間で出された意見や保育の課題を真摯に受け止め、解決のために改善を図った点は大きな成果である。</li> <li>●職員間の連携を図り、保育士の資質向上、保育の質の向上に取り組んでいる点は評価できる。</li> </ul>	氏名 松岡 えりこ 鬼丸 雪枝